opusdei.org

9月27日、フランシス コ教皇の手紙

アルバロ・デル・ポルティー リョ師の列福式に際して、フ ランシスコ教皇はオプス・デ イ属人区長ハビエル▶エチェ バリーア司教へ手紙を届けて くださいました。

2014/09/27

ハビエル・エチェバリーア・ロドリ ゲス司教、

オプス・デイ属人区長へ

オプス・デイの先頭に立ち、聖ホセマ リア・エスクリバーの忠実な協力者 にして最初の後継者であった神のし もベアルバロ・デル・ポルティー リョの列福は、属人区のすべての信 者にとって特別の喜びを表す瞬間で す。そして、長年に渡って、アルバ ロ・デル・ポルティーリョの神への 愛と人々への愛、教会と自己の召命 への忠実の証人であったあなたに とっても大きな喜びであることで しょう。また、私は皆さんの喜びに 心を合わせ、御自身の子どもたちの 聖性によって教会のみ顔を美しくし てくださる神に感謝を捧げたいと望 んでいます。

列福式はマドリッドで挙行されます。そこは神のしもべが生を受け、 幼年時代と青年期を過ごし、実直な 家族生活と友情、そして多くの貧し い人々の人間的・キリスト教的形成

を助けるために周辺の地域で行った 奉仕を通して人格を培っていった街 です。まさにマドリッドで、その生 涯を決定する出来事が起こったので す。聖ホセマリア・エスクリバーと の出会いでした。アルバロは聖ホセ マリアから日々ますますキリストを 愛することを学びました。そうで す、キリストに心をとらえられ、キ リストを心から愛するようになった のです。これこそすべてのキリスト 者がたどるべき聖性の道です。それ は、キリストの愛に身を委ね、キリ ストの愛に心を開き、人生の導き手 としてキリストを受け入れることで す。

神のしもべが、日頃、そして特に、 個人的な祝いや記念日に際して繰り 返し唱えていた射祷、「ありがと う、ごめんなさい、もっと助けてく ださい!」を、私は好んで思い出し ています。この言葉によって、私た ちは、彼の内的生活と神との付き合 いの姿に近づくことができます。また、この言葉は、私たちにもキリスト者として生きる上で新しい力を与えてくれます。

「ありがとう」からはじめましょ う。これは、神の善性を前にする と、ただちに、そして、自然と湧き 上がってくる反応です。他の反応は あり得ません。神は常に先駆けてく ださるのです。たとえ私たちの努力 がどれほど大きいとしても、常に先 に働き、私たちに触れ、私たちを愛 撫してくださるのは神の愛です。私 たちに《先んじて》くださるので す。アルバロ・デル・ポルティー リョは神から与えられた多くの賜物 を自覚し、父としての神の愛に感謝 を捧げていました。しかし、それだ けではありません。神の愛を認める ことによって、彼の心は、さらなる 献身と寛大さで神の愛に従い、人々 に謙遜に仕える望みに目覚めていっ たのです。特に、キリストの花嫁で

しめ、私たちを立ち上がらせ、喜びをもって決然とした態度でアルシをものなのです。神のしもみををでアル必をが神のあわれみをとったが神のあわれることを知っており、喜びとを知っているがゆるしたのでするがは、対するを感じなるとのです。神の時間がまだあるとことでものは、どれほど大切なことではない。

「もっと助けてください」。そうでは決して私たちをおください、見捨だないでもならず、常にそばにれ、日ではまれたちとはまれたのででででいました。そのではいまれたののででででいました。そのではいました。そのではいました。そのではいました。そのではいました。そのではいました。そのではいました。そのではいました。そのではいました。そのではいました。そのではいました。そのではいました。そのではいました。そのではいました。そのではいました。そのではいました。そのではいました。そのではいました。

され、困難に心を奪われることな く、多くの国々を駆け巡り、福音官 教の様々な計画を推進しました。神 の内に深く入っている人は、人々に 寄り添うことができるのです。人々 にキリストを宣べ伝えるための第一 の条件は、人々を愛することです。 キリストが先に彼等を愛されたから です。利己主義と安楽から抜け出し て、兄弟たちとの出会いに向かわな ければなりません。神はそこで私た ちをお待ちなのです。信仰を自分の 中に留めておくことなどできませ ん。信仰の賜物は、与えるため、 人々と分かち合うために与えられた のです、

「ありがとう、ごめんさない、もっと助けてください!」 これらの言葉には、神を中心にして生きる人の緊張感が表れています。より大きな神の愛に触れた人、その愛に全面的に生きた人に表れるものです。自らの弱さと限界を経験しながらも、神の

あわれみに信頼し、すべての人々、 兄弟たち皆が、同じ経験することを 望む人に表れる緊張感です。

親愛なる兄弟、福者アルバロ・デ ル・ポルティーリョは、非常にはっ きりとしたメッセージを私たちに届 けています。主なる神は私たちの兄 弟であり、決して私たちをあざむく ことのない友であり、常に私たちの そばにおいでになる御方であるか ら、主に信頼するようにと語りかけ ています。福音を宣べ伝えるため に、流れに逆らって進むことや苦し むことを恐れるなと、私たちを励ま しています。さらに、素朴な日常生 活において、聖性への確かな道を見 出すことができるのだと、教えてい ます。

司祭と信徒からなる属人区のすべて の信者の皆さんに、そして、属人区 の活動に参加するすべての人々にお 願いします。どうか私のために祈っ てください。皆さんへ使徒的祝福を 送ります。

イエスが皆さんを祝福し、聖母が皆さんを守ってくださいますように。

兄弟的愛をこめて、

フランシスコ

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/27-septiembre-carta-del-papa-francisco/(2025/11/21)